

# 配管用ガスケットの基準

(2023年7月13日追補)

この追補は、2015年12月24日に制定された“配管用ガスケットの基準”の追補である。したがって、今後、**JPI-7S-81-2015**とは、この追補も含むものとする。

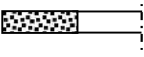
なお、この追補は、石油学会ホームページ上で、該当箇所のみを示す。2023年7月13日の追補は次の2箇所通りである。

JPI-7S-81-2015の該当頁：2頁（管理番号：7S-81-2023 追補01）…………… 2


JPI-7S-81-2015の該当頁：3頁（管理番号：7S-81-2023 追補02）…………… 3

JPI-7S-81-2015 の該当頁： 2 頁 (管理番号： 7S-81-2023 追補 01)

表 1 ガasketの名称、種類の記号、断面形状、構造、材料、該当製品規格及び厚さ

名称	種類の記号		断面形状	構造、材料 (3) 及び該当製品規格	厚さ mm
PTFE (2) ソリッドガスケット	P S	C		シリカ入り PTFE シートを所定の形状寸法に加工したガスケット。 <b>JPI-7S-75</b>	1.5 3.0



追記					
名称	種類の記号		断面形状	構造、材料 (3) 及び該当製品規格	厚さ mm
PTFE (2) ソリッドガスケット	P S	C		シリカ入り PTFE シートを所定の形状寸法に加工したガスケット。 <b>JPI-7S-75</b> アルミナ入り PTFE シートを所定の形状寸法に加工したガスケット。 (6)	1.5 3.0

(6) アルミナ入り PTFE シートについてはシリカ入り PTFE シートと同様の取り扱いをし、そのガスケット特性は **JPI-7S-75 表 3** の P S - C の項を目安とする。

備考)

アルミナ充填 PTFE への対応を追加

JPI-7S-81-2015 の該当頁： 4 頁 (管理番号： 7S-81-2023 追補 02)

表 2 ガasketのガasket係数、最小設計締付圧力及び最大締付面圧

名 称	種類の記号		厚 さ 断面形状 材 質		ガasket 係数 m	最小設計締付圧力 y N/mm <sup>2</sup>	最大締付面圧 N/mm <sup>2</sup>
			2.8 mm	S、M 形 F 形			
PTFE 被覆ガasket	PJ	B	2.8 mm	S、M 形	3.5	14.7	49.0 (7)
				F 形	4.0	19.6	



追記

PTFE 被覆ガasket	PJ	B	2.8 mm	S、M 形	3.5	14.7	(49.0 : 参考値) (7)
				F 形	4.0	19.6	

## 注 (7)

PTFE 被覆ガasketの最大締付面圧は、平面座に用いた場合の締付初期の最大締付面圧である。



追記

PTFE 被覆ガasketの最大締付面圧は、平面座に用いた場合の締付初期の最大締付面圧である。  
本表記載の数値は参考値であり、実際の使用においてはメーカーに確認すること。

## 備考)

強度計算の際、ガasket寸法は被覆材を含む寸法で計算される場合があり、その場合、中芯材はそれより小さいため、中芯に作用する実質面圧は計算より大きくなる。小口径の場合はその影響が顕著であり、破損につながる場合があることを考慮した。